

今年の連休はほとんどコロナ前の人出だったようです。私は家でのんびりしていました。皆さんはいかがお過ごしでしたでしょうか？

## /// I N D E X //////////////////////////////////////

- ・ ISO 関連情報...-----ISO14064-1 追補 DIS (削減貢献量) が出ました。  
規格協会が発行した ISO14068-1 の対訳本の監修をしました。
- ・ LCA の実務 mini 17---上流企業の一次データの収集は？
- ・ LCAF からお知らせ...LCAF オンライン初級研修を 5 月 29 日(水)・5 月 30 日(木)に行います。
- ・ 編集後記.....勝沢先生のこと

### ■ LCA 関連情報 ■

○ISO14064-1 追補 DIS (削減貢献量) が出ました。

削減貢献量が次のように追加されました。私の訳では「3.2.15 avoided emission: 解決策 (Solution)を用いない参照シナリオ (reference scenario) のライフサイクル GHG 排出量の方が、解決策を用いたシナリオから生じるライフサイクル GHG 排出量よりも多い場合に推定されるそれらの差」です (ISO の文書ですので原文を載せるとしかられてしまいます)。

これは、昨年 3 月に発行された WBCSD の削減貢献量のガイダンスの定義「An avoided emission is thus the difference between GHG emissions that occur or will occur (the "solution") and GHG emissions that would have occurred without the solution (that of the reference scenario). とよく似ています。議論の過程でこの WBCSD の定義を参照したのであたりまえですね。

○規格協会が発行した ISO14068-1 の対訳本の監修をしました。

59,939 円 (税込み) です。高いのでびっくりしました。

<[https://webdesk.jsa.or.jp/books/W11M0090/index/?bunsyo\\_id=ISO+14068-1%3A2023](https://webdesk.jsa.or.jp/books/W11M0090/index/?bunsyo_id=ISO+14068-1%3A2023)>

ISO の翻訳 JIS ではなく「対訳」ですので、{GHG removal} を翻訳 JIS で使われる「吸収」ではなく「除去」にしてもらいました。(残念ですが、翻訳 JIS が出るときには、JIS としての一貫性の観点から、また「吸収」に戻るように思います。)

### ■ LCA の実務 mini 17 : 上流企業の一次データの収集は？ ■

最近 Scope3 基準で GHG 排出量を算定する企業が増えています。この時に問題になるのが、Scope3 の「カテゴリー 1 : 購入した製品・サービスの GHG 排出量」です。通常は、IDEA などのデータベースを使って算定するのですが、実際のデータの方が「真」であるという考え方で、製品・サービスの納入業者にその製品・サービスの GHG 排出量を聞くことが行われるようになってきました。「Green x Digital コンソーシアム」の活動もその一つだと思います。

この時に注意しなければならないのは、購入した製品・サービスの「ゆりかごから製造までの CFP」を聞くということです。しかし実際には、製品の納入企業がその製品の CFP を ISO14067:2018 に準拠して計算していない場合が多いので、製品・サービスの納入企業からデータを入手することが困難なことが多いのが実情です。

一方、温暖化対策推進法の SHK 制度で、企業の GHG 排出量を算定している企業が多いので、これを使うという発想が出てくるのは自然なことです。注意しなければならないのは、SHK 制度での報告は納入企業全体の Scope1 と Scope2 なので、1) その企業が製造している当該製品に割り当てる必要がある、2) 製造段階と使用している電力の発電部分だけなので、企業と発電の上流での GHG 排出量を加算する必要がある。ということです。

また、納入企業が Scope3 基準の GHG 排出量を公開している場合は、これを使うという発想が出て来ます。しかし、Scope3 基準の GHG 排出量は通常は製品の CFP では算定しない「カテゴリー 6 : 雇用者の出張」や「カテゴリー 7 : 通勤」が含まれ、また「カテゴリー 11 : 販売した製品の使用」、「カテゴリー 12 : 販売した製品の廃棄」などが含まれるので、1) これら除去してゆりかごから製品の製造・輸送」までにする工夫が必要です。さらに、企業全体の排出量なので、2) 当該製品分を推定する方法が必要です。

以上のように上流企業の製品の CFP データを入手するのは、現状ではそんなに簡単なことでは

ありません。上記の方法を使う場合は、少なくとも上記の制約をどのように処理しているのか明確に記述して公開することが必要です。

現在は、上流企業の CFP データを聞きに行く活動を通じて、産業全体で CFP 算定が進むように努力している状況だと思います。「Green x Digital コンソーシアム」の活動も、信頼できる CFP データの企業間連携を進めることが目的だと思います。

■■ LCAF からのお知らせ：オンライン初級研修を 5 月 29 日(水)・5 月 30 日(木)に行います。

■■

○今年度第 1 回の初級研修です。

オンライン初級研修：5 月 29 日(水)・5 月 30 日(木) 以下からお申し込みください。

[https://lcaf.or.jp/education/training/lca\\_base/](https://lcaf.or.jp/education/training/lca_base/)

○今年度の LCAF オンライン研修と検定の日程は以下です。ご参加をお待ちします。

内容は<<https://lcaf.or.jp/education/>>を見てください。皆様のご参加をお待ちします。

- ・LCAF オンライン初級研修
  - 第 1 回：5 月 29 日(水)・5 月 30 日(木)
  - 第 2 回：9 月 4 日(水)・9 月 5 日(木)
  - 第 3 回：12 月 18 日(水)・12 月 19 日(木)
- ・LCAF オンライン中級研修
  - 第 1 回：7 月 31 日(水)・8 月 1 日(木)
  - 第 2 回：11 月 13 日(水)・11 月 14 日(木)
- ・LCAF 初級検定
  - 第 1 回：7 月 6 日(土)
  - 第 2 回：10 月 26 日(土)
  - 第 3 回：2025 年 3 月 1 日(土)
- ・LCAF 中級検定
  - 第 1 回：9 月 28 日(土)
  - 第 2 回：2025 年 1 月 25 日(土)

○[好評につき増刷します。] 参考図書「基礎から学ぶ LCA～LCA の実施と活用～」

以下からお申し込みください。(3,000 円+税+送料) です。

<https://lcaf.or.jp/education/textbook/>

この参考図書の図表をパワポに貼り付けた資料の販売を始めました。価格は要相談です。

■■ 編 集 後 記: 勝沢先生のこと ■■

この LCAF 通信で、私が静岡県立清水東高校の卒業生であることを何度か書きました。体育を教わった勝沢要先生が亡くなったとネットニュースで見ました。高校生の時にはずいぶん年上だと思っていたのですが、享年 85 歳だと聞くと、まだ若いのにと残念な思いがします。

勝沢先生は母校をサッカー有名高にした先生です。私は球技があまり得意ではなかったので、体育の時間のサッカーで「イナバ！後ろに蹴っても点はいらん！前を向け、前を！」としかられてばかりいました。卒業して何年後かに、東京大学の本郷の正門前の定食屋で夕飯を食べていた時に突然「イナバ！ここで何してる？」と言われてびっくりしました。当時は本郷の正門前あたりに旅館がたくさんありました。全国大会に出場する生徒を宿において、ビールを飲みに来ていたということでした。サッカーが得意ではなかったのに覚えていてくれて少しうれしかったです。仲間と体育の時間をさぼってばかりいて、卒業間際に「出席数が足りない！マラソンコースを走ってこい」と叱られたので、覚えていてくれたのかもしれない。

勝沢先生が日本全国の高校にサッカーの指導に行っていたのを知ったのは、ずっと後のことです。サッカーの全日本代表と飛行機で偶然乗り合わせた時に、私が清水東の卒業生だと言ったら、隣のトレーナーの人が教えてくれました。現在の高校サッカーの礎を作った大きな功績の人だということでした。

私の今の仕事はサッカーではありませんが、「前を向け！前を！」という激励を思い出します。まだまだ頑張らねばと思います。ご冥福をお祈り申し上げます。合掌

(LCAF 理事長 稲葉 敦)

○LCAF の活動にご支援頂ける企業様に「賛同会員」としてのご参加をお願いしています。  
<https://lcaf.or.jp/support-members/>  
ご協力をお願い申し上げます。

○ご意見,ご感想,この「LCAF 通信」の配信停止のご連絡はこちらまで  
[lcaf-contact@lcaf.or.jp](mailto:lcaf-contact@lcaf.or.jp)

-----  
一般社団法人 日本 LCA 推進機構

**Japan Life Cycle Assessment Facilitation Centre (LCAF)**

(エルカフと呼んで(読んで)ください)

〒170-0013 東京都豊島区東池袋 1-36-7 アルテール池袋 608

電子メール : [lcaf-contact@lcaf.or.jp](mailto:lcaf-contact@lcaf.or.jp)

URL:<https://lcaf.or.jp/>